

COCOA、終了へのアップデートを17日に開始。必ず更新し、停止手続き後に削除を

宇都宮 充 2022年11月11日 19:21

リスト



厚生労働省は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)について、11月17日より機能停止版(バージョン3.0.0)の配信を開始すると発表した。1週間程度で全ユーザーに配信される見込みで、利用中のユーザーに対しては、COCOAをアップデート後、案内に従って機能停止の手続きを実施するよう求めている。

COCOAを導入したデバイス上では、陽性者との接触の可能性を通知するため、定期的に処理を行なっている。そのため、わずかではあるものの、バッテリー消費や通信料などデバイスへの負担が発生してしまう。今回のアップデートは、ユーザーに運用停止を伝えるとともに、この定期的な処理を停止するためのもの。

手続きは、アップデート後のCOCOAに表示される案内に従って、数回の操作を行なえば完了できる。現行のCOCOA(バージョン2.0.1)では、処理番号の発行が停止されたあとも定期的な処理が続く仕様のため、同省では、必ずアップデートを適用し、機能停止手続きを行なった上で、COCOAを削除するよう求めている。

なお、機能停止前にCOCOAを削除してしまった場合については、各スマートフォンOSの設定から、接触通知をオフにするよう設定変更することで、同様の手続きを完了できる

としている(OSの持つ接触通知機能を用いているため)。

iOSの場合:iPhoneの「設定」→「接触通知」→「接触通知をオフにする」

Androidの場合:OSの「設定」アプリ→「Google」→「COVID-19 接触通知システム」→「接触通知システムを使用」をオフに切り替える

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、同省が2020年6月より提供してきたスマートフォン向けアプリ。9月末より実施された全数届出の見直しにともない、アプリの効果が限定的となることから、機能を停止する運びとなった。